

# コーチングのスキルと活用Ⅳ ～円滑な保護者対応に生かす～

ナラティブコミュニケーション教育研究所 所長  
別府大学 客員教授

佐藤敬子



独立行政法人教職員支援機構

# 目次

## 1 共通のゴールを意識する

(1) 対等なパートナーとして共通のゴールをめざす

(2) 保護者をめぐる社会的背景とその影響

## 2 保護者対応のポイント

(1) 対応の基本

(2) 日常的に良好な人間関係を築く

## 3 コーチングスキルを保護者対応に活かす

(1) 「きく」

(2) 「認める」

(3) 「質問する」

## 4 伝わる対話のポイント

# 1 共通のゴールを意識する

(1)対等なパートナーとして共通のゴールをめざす

①教師としての教育のゴールと  
保護者としての子育てのゴール



願うゴールは同じ

社会的自立・自己実現  
(子どもの健やかな成長)



家庭・保護者

- ・立場
- ・年齢
- ・価値観
- ・方法



学校・教師

# 1 共通のゴールを意識する

## (2) 保護者をめぐる社会的背景とその影響

### ① 少子化・核家族化

- ・ 身近な相談相手がいない

### ② 価値観の多様化

- ・ 教育観、教育方針の多様化

### ③ ストレス社会

- ・ 保護者自身の身体的、精神的な課題

### ④ 情報化社会

- ・ 子どもとの適切な距離感のとりにくさ
- ・ 検索と拡散

## 2 保護者対応のポイント

### (1)対応の基本

- ①チームとしての対応であること
  - ・学校、学年、担当、担任だけの対応はない
- ②「全ての職員の対応」が「学校の対応」となる
  - ・玄関を入った時に「学校」が見える
  - ・電話に出た最初の一言で「学校」が見える
  - ・誰が対応しても「学校」の対応
- ③相手を尊重する接遇力を身につける

※明治図書 教育オピニオン

『今、教師が身につけていたい「接遇」』 佐藤敬子

<https://www.meijitosho.co.jp/eduzine/opinion/?id=20131034>

## 2 保護者対応のポイント

(2)日常的に良好な人間関係を築く

①学校、学級などの情報を発信する

- ・学級通信、連絡ノート等

②家庭の対応に感謝する

- ・子どもを通じてことばで発信する

③会話にクッション言葉を忘れない

- ・「いつもお世話になります」
- ・「お忙しい中、申し訳ありません」
- ・「お手数をおかけいたしますが」
- ・「お差し支えなければ」
- ・「あいにく〇〇ですが、もしよろしければ  
〇〇いたしましょうか？」

### 3 コーティングスキルを保護者対応に活かす

#### (1)「きく」

##### ①保護者を支援する立場で聴く

- ・自分の関心より相手の関心を聴く
- ・わかりたいと思って聴く

##### ②受け入れる

- ・評価や判断を下すのではなく受け入れる
- ・心理的事実と客観的事実を区別する

##### ③聴く:話す=7:3

- ・腕組みや厳しい表情で聴かない

##### ④相手の感情に合わせたあいづちと表情

- ・相手のことばの裏側にある感情を察して共感する

### 3 コーチングスキルを保護者対応に活かす

#### (2)「認める」

##### ①子どもの「変化」「行動」「姿勢」を認める

- ・日常的なコミュニケーションを欠かさないことによって変化、行動、姿勢を伝えることができる
- ・「Iメッセージ」「Weメッセージ」で伝える

##### ②保護者の「変化」「行動」「姿勢」を認める

- ・心理的安全性を確保し自己肯定感を高める

### 3 コーチングスキルを保護者対応に活かす

#### (3)「質問する」

##### ①どこに行きたいのか

- ・ 遠いゴールと今、解決したい近いゴール

##### ②今、どこにいるのか

- ・ いつから、どんなときに、どのような状態なのか
- ・ だれが、どこで、どうしたのか

##### ③まず、どこまで行きたいか

- ・ いつ、どこで、だれとなら、何から、どうなれば

##### ④より具体的に共有する

##### ⑤行動に移すための意思を共有する

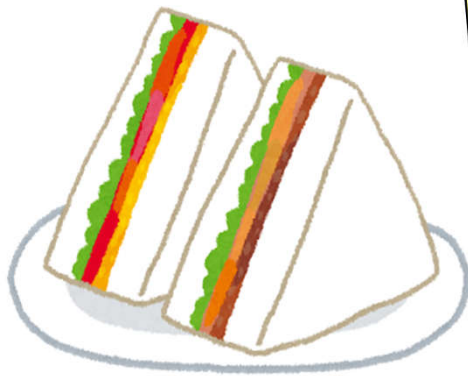
- ・ 優先順位を決める
- ・ いつから
- ・ だれが

## 4 伝わる対話のポイント

- ・子どもが常に認められていると感じる  
(承認と感謝)

- ・子どもが認められているからこそ言ってくれると感じる (承認と期待)

① 認め＆感謝  
② 共感  
③ 認め＆期待



- ・何が問題か
- ・どうすれば良いか
- ・具体的にはどうするか
- ・できるか

質問力を使う